

## 庁舎建設基本設計書（案）に関する市民説明会 質疑応答

・北地区コミュニティセンター 参加者16名

No.	ご意見など	市の考え方
1	動画で見せていただいて、わかりやすくとても良く分かった。(感想)	
2	新庁舎建設に併せて新たに配置される部署はあるのか。	新庁舎には、現在、公民館に配置している教育委員会と市の委託事業として別施設で運営している砂川市地域包括支援センターを新たに配置する予定です。
3	多目的トイレのオストメイト仕様とはどのようなものか。	人工肛門や人工膀胱などの排泄機能を損なった人のための特別な設備を備えたトイレのことです。
4	エントランスホールの待合には、背もたれのあるソファなどを設置して欲しい。	要望として受け取り、前向きに検討していきます。
5	耐震性能については、震度6強まで耐えられるとの説明であったが、耐震強度はさらに強化したほうが良いのではないか。	耐震設計は、震度6強に耐えられる強度の1.5倍で、国が定める基準の中では、耐震強度が最も高い設計としており、大地震動後も建物を補修することなく使用できることを目標に人命の安全確保と十分な機能確保が図られた設計としています。
6	水害が起こりやすい場所に建てることになっているが、他の場所に建てたほうが良いのではないか。	庁舎建設検討審議会において、十分協議した上で、現在の場所に建設することとしました。水害時の浸水想定区域ではありますが、盛り土をすることなどしっかりと対策することを前提に利便性や経済性などの条件から総合的に判断しました。
7	新庁舎に食堂は無いのでしょうか？乗り合いタクシーの待合時間に時間をつぶすことができる場所がほしい。	食堂については、現在、福利厚生施設として、職員福利厚生会により委託運営されていますが、現状の利用者が少ないことや新庁舎に隣接する公民館にラウンジコーナーがあることなどから設置しないこととしました。なお、代替として売店の設置を検討しています。また、待合場所として利用することができる、1階のフリー（交流）スペースや4階の展望ラウンジを設置します。
	市立病院に通院しているが、駐車場の利用はどのようになるのか？	旧庁舎跡地を来庁者用及び病院来院者用の駐車場として整備し、また、新庁舎の建設位置が、現在の病院職員駐車場となっているため、その代替の駐車場として使用する予定としています。病院の駐車場としては、立体駐車場と旧庁舎跡地駐車場も利用できるようにします。

・南地区コミュニティセンター 参加者 5名

No.	ご意見など	市の考え方
1	市民説明会の参加人数が少ない。周知方法の町内会連合会との連携や新聞折込など工夫をしたほうがいいのでは？市民のための市庁舎なので1人でも多くの方に説明会に参加して欲しいと思う。	市民周知の方法は、広報すながわ、ホームページ、市内の全町内会長への案内をしています。今後、市民説明会等の開催の際には、周知方法を工夫していきます。
2	食堂はないのか？	同上（北地区コミュニティセンターNO.7）
3	福祉部門の事務室に隣接して相談室が多く設置されているが、どのように利用されるのか？	個室の相談室は、プライバシーに配慮する相談等の対応時に利用する予定としています。現在の庁舎では、相談室が少なくプライバシーに配慮する案件についても、窓口で対応している状況であるため、現庁舎より多く配置しています。また、ユニバーサルデザインに配慮して、車椅子に対応した広さの相談室を設置する予定です。
4	職員の休む場所はどこになるのか？	主に2階の休養室を利用することになります。また、女子更衣室には、小上がりの休憩スペースを設置する予定です。
5	転入した際に南庁舎と北庁舎窓口を周って手続きをした。新庁舎は、窓口が集約されており、利用しやすい施設になっていると思う。(感想)	
6	教育委員会が入っていた公民館のスペースはどのように利用されるのか。	公民館の利用には制約があるため、今後どのような目的で使用していくかについては、現在、内部で検討中です。
7	現在の庁舎の正面玄関は高い位置にあるが、新庁舎も盛り土をして高くし、スロープや階段をつけるとのことだが、バリアフリーへの配慮はどのようにしているのか。	盛り土をして高い位置に新庁舎を建設することになるため、敷地入り口は緩やかなスロープとなりますが、正面玄関は、平らで段差をつけないよう整備し、バリアフリーに配慮します。また、東側玄関については、西6条北通りとの高低差があるため階段とスロープを設置することを予定しています。

・地域交流センターゆう 参加者 21名

No.	ご意見など	市の考え方
1	水害の各レベルにおける出入り口や動線はどのようになるのか。	水害レベル1（50～60cmの浸水）の場合は、東側の玄関から盛り土している南側敷地へ移動でき、南方面への動線を確保します。レベル2（5m程度の浸水）の場合は、石狩川が氾濫し、庁舎から出入りできなくなることを想定していますが、氾濫の危険性については、上流の状況から判断できるため時間に猶予があり、新庁舎から出入りできない状況になることが想定された場合、来庁者を退避させ災害対策本部を移転する計画としています。
2	3日分の非常用燃料が備蓄されているとのことだが、災害対策が長引いた場合の補給はどのようにするのか。	非常用発電機の備蓄燃料は、災害時の復旧の目安として3日間の運転が可能な備蓄量としており、新庁舎までの交通インフラに影響が無いような災害であれば、早期に補給することが可能であることから、最低3日分の燃料を備蓄する計画としています。また、3日間で復旧せず、燃料補給もできないと想定された場合は、節約しながら復旧活動を行うことを考えています。
3	ソーラー発電システムを設置しないのか。	新庁舎における使用電気量に対して、ソーラー発電システムで賄うことができる電気量は1%程度であり、供給効率が悪いため設置しないこととしました。
4	大地震に対してはどのような対策を立てているのか。	震度6強に耐えられる強度の1.5倍の強度設計を行うことで、大地震がおきても倒壊することのない建物とします。
5	ランニングコストの新庁舎と旧庁舎の比較はしているのか。	ランニングコストの比較は、実施設計段階でなければ算定できませんが、現庁舎と比べると設備が多くなる等の状況から増えることが想定されます。そのため、できる限りランニングコストを削減するため、高効率の設備を導入するなどの様々な方策を計画しています。
6	冬場の動線や駐車場の除雪などの対策はどのように考えているのか。ロードヒーティング等は設備するのか。	新庁舎正面玄関前の歩道部分には、大きな庇を掛けて雪対策を行い、ロードヒーティング設備は、今後検討していきます。 敷地内の除雪については、担当部署と十分に協議して、利用者の不便にならないようにします。

No.	ご意見など	市の考え方
7	市立病院の職員駐車場の場所に新庁舎を建てることになるが、病院職員の駐車場はどのようになるのか。	旧庁舎跡地を来庁者、病院来院者及び病院職員の駐車場として整備します。工事期間中の駐車場については、現在、職員駐車場に使用している部分を開放し、できる限り市民に不便を掛けることのないように配慮します。
8	<p>水害レベル2の場合、庁舎が孤立するため災害対策本部を移転するという説明があったが、防災計画ではどのようになっているのか。また、移転の計画がある施設に機能を設備されているのか。</p> <p>昭和56年の水害は基本設計書の水害レベルでは、どの程度になるのか？</p>	<p>防災計画では、市役所庁舎が使用できない状態になった場合は、災害対策本部を他の公共施設に移転することとしています。なお、移転先の設備については、今後、計画的に整備していくこととなります。</p> <p>昭和56年の水害時は、基本設計書でいう水害レベル1に満たない規模で、現在の市役所付近は浸水していません。また、昭和56年当時と比べて、現在は、堤防やオアシスパーク等の治水整備がされており、加えて、パンケ歌志内川とペンケ歌志内川を繋ぐ河川トンネルの整備などにより、当時と比べて水害対策がなされているため、同様の雨量でも水害になりにくくなっています。</p>